

使用上の注意

1 チンガード(あごガード)を開けるときは

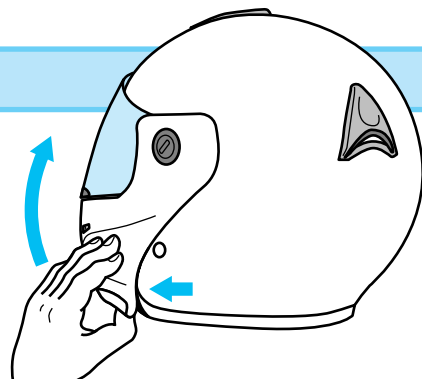
右図のように、ヘルメット左側のチンガード下部に下から左手の親指を入れ、チンガードを外側へ押し上げながら、右手でチンガード先端部を頭頂部方向へ動かしてください。

- 帽体側面のベース板とチンガード左側面の裏側にストッパーが付いており(下図・各部の名称を参照)、このストッパーによってチンガードがロックされるようになっています。従って、チンガードを外側に押し上げずに開けようとすると、ストッパーが破損する恐れがありますので十分注意してください。
- チンガードは4段階のアクションで上方向へ開きます。

2 チンガード(あごガード)を閉めるときは

ゆっくりおろすだけで閉まります。「カチッ」というロック音がするまで確実におろしてください。

- シールドを開けたままでもチンガードの開閉は可能です。

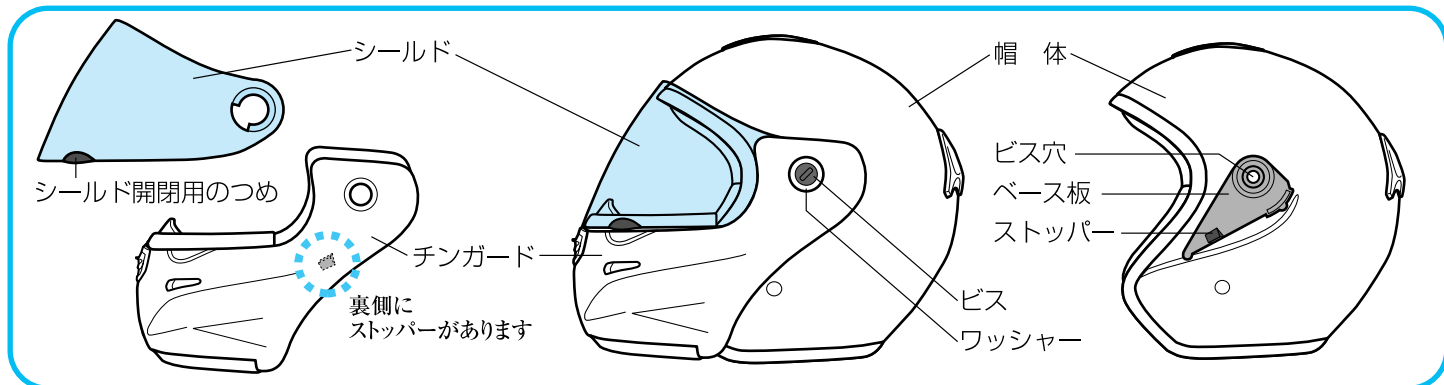


警告!

- 走行中の開閉操作は危険です。絶対に行わないでください。
- チンガードを開けたまま走行しないでください。開けたまま走行するとチンガードに過大な風圧がかかり、首を痛めたり、重大な事故につながる恐れがあります。
- チンガードはあくまでもヘルメットの付属品であり、事故や転倒の衝撃からあごを守ることを保証するものではありません。
- チンガードを取り付けている「ビス」は、ときどき増締めを行ってください。チンガードの開閉や走行時の振動などで「ビス」が緩んでくることがあり、万が一走行中に脱落した場合、重大な事故につながる恐れがあります。

チンガード、およびシールドの着脱方法

■ 図(I) 各部の名称



チンガード、およびシールドの取り外し方

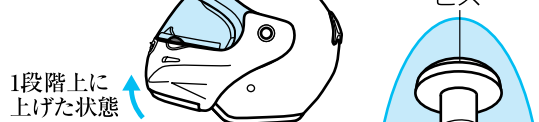
- 1 チンガード、およびシールドが閉まった状態で左右両方のビスを緩めます。ビスとワッシャーを抜き取るとチンガード、およびシールドが外れます。
※ビスとワッシャーは密着した状態で抜けますが、このときビスとワッシャーを離し、それぞれ紛失しないように注意してください。

チンガード、およびシールドの取り付け方 [図II・III参照]

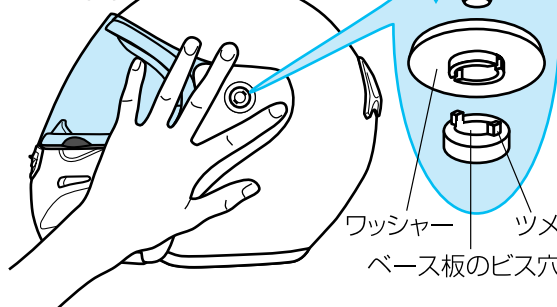
- 1 図IIのように1段階上の位置で、シールド、チンガードの順に帽体左右のビス穴にセットします。
※このとき、シールドとチンガードがきちんとかみ合っているか確認してください。
- 2 図IIIのように、セットしたシールドとチンガードを左手で押さえながら、ビス穴にワッシャーをはめ込みます。
注1 ベース板のビス穴に2個のツメが付いています。このツメに、ワッシャー裏側の切れ込みがはまるようにワッシャーをはめ込んでください。
※きちんとはまっていないとワッシャーが浮いた状態になり、ビス止めができません。
注2 ワッシャーがないとビスが外れる恐れがあります。必ずワッシャーを使用してください。
- 3 ワッシャーがきちんとはまったら、ワッシャーが動かないように左手の指先で押さえながらビスを入れ、8~9割程度の仮止めをします。左側の次に右側も同じ手順で仮止めをします。
- 4 この状態で、シールドがスムーズに開閉できるかどうか確認します。次に、チンガードも確実に開閉できるかどうか確認します。確認が終わったら左右のビスの本締めをします。最後に「カチッ」というロック音がするまでチンガードを下げてください。

※チンガードやシールド、およびワッシャーを所定の位置にセットしなかったり、ビスが確実に締まっていなかったり破損したり機能が十分働かない恐れがありますのでご注意ください。

■ 図(II)



■ 図(III)



Marushin

マルシン工業株式会社

〒124-0011 東京都葛飾区四ツ木5-9-6
TEL.03-3693-5791(代) FAX.03-3693-5762
<http://www.marushin-helmet.co.jp>